

3学期もあと1ヶ月あまりとなりました。年度末の各種行事へ向けた準備等、何かと慌ただしくなる時期ですが、学習のまとめをする重要な時期でもあります。授業の充実とともに、児童生徒一人一人の学習状況を把握し、「つまずきが見られる分野」については補充指導や家庭学習などを活用し、まとめの充実を図っていきたいものです。



学力向上 RPDCA サイクルを意識しながら RPDCA

南会津教育事務所では推進している9月始まりのRPDCAサイクルにおいては、現在は、RPDCAのD（課題解決へ向けた集中的な取組（実践））にあたる時期です。

	C	A		R	P	D					C	A		
実施主体	4月	5月・6月	夏季休業	8・9月	10月	11月	12月	2月	3月	春季	4月	5月	6月	夏季休業
学校	学力調査	実践	家庭学習の充実	結果分析	取組内容検討・計画	取組開始 ※強化月間		実践	※強化月間	家庭学習	学力調査	※強化月間	家庭学習の充実	
地教委	実施に向けた支援	各校への支援 事務所等との連携	実施に向けた支援	各校の分析把握	地教委としての方針周知 各校の取組計画の把握		各校への支援 事務所等との連携 中間チェック			実施に向けた支援	各校への支援 事務所等との連携	実施に向けた支援		
事務所	実施に向けた支援	各校への支援 義務教育課等との連携	実施に向けた支援	各校の分析把握	域内学力向上対策会議	各校の取組計画の把握		各校への支援 義務教育課等との連携			実施に向けた支援	各校への支援 義務教育課等との連携	実施に向けた支援	

- R：「全国学力・学習状況調査」「ふくしま学力調査」の結果をもとにした分析
- P：分析結果をもとにした自校の課題解決に向けた計画
- D：課題解決へ向けた集中的な取組（実践）**
- C：次年度の「全国学力・学習状況調査」、「ふくしま学力調査」による評価
- A：評価をもとにした計画の見直し（改善）

特に2月～3月は、各校の学力向上の強化月間として位置づける等の工夫をしながら、全教職員で実践内容とスケジュールを再共有し、計画的・継続的な取組を行っていただければと思います。

自校の課題を踏まえた分析シートより

裏面に、10月の学力向上担当者研修会において、各校からあげられた「重点化して取り組む内容」から抜粋したものを記載しました。ご提出いただいた後の進捗状況はいかがでしょうか？

半数以上の学校において、授業の充実や授業と関連した家庭学習の充実、自己マネジメント力の育成があげられていました。また、自分の考えを書く時間の確保や各種テストの活用による個に応じた指導の充実等もあげられていました。

これまで各校で実践してきた取組を振り返り、2～3月の重点を再共有していきたいものです。

(各校のシートより)

- 家庭学習の指導、家庭学習と自己マネジメント力の向上、個に応じた家庭学習の充実、授業での学びをつなげる家庭学習
- 読書活動の充実
- 授業の質の向上、複式学級での授業の充実
- 話し合い活動の充実、対話的な活動の充実
- 授業を支える「学級経営・生徒指導」の充実
- 振り返りの充実
- 自分の考えを文章にまとめる時間の確保、書く時間の確保
- 個に応じた特別支援教育の充実
- 各種学力調査・校内テストの活用
- 理解が不十分な分野(苦手分野)の指導
- 単元テストの分析を基にした個に応じた指導、個別最適な学び、学びの個別化

授業改善にあたっては、各学校へ配付した「自ら学ぶ子供の育成リーフレット」及び「補足資料」もぜひご活用ください。

伸びを引き出した効果的な取組～ふくしま学力調査～RPDCA

以下は、域内で学力の伸びが大きかった学校の取組です。主体的な学びや自己マネジメント力を大切に参考になる実践です。

伸びを引き出した効果的な取組(小・国語)

① 学力向上学級化プランの活用

学力テストの分析結果を踏まえ、学力向上グランドデザインを学級化した学力向上学級化プランと自己評価シートを各学級担任が週案に綴り、毎月振り返ることで、日々の授業改善にいかそうとする意識を高めた。

② 自分の考えをもつ「書く」活動の位置付け

自分の考えをもつということが、思考力、判断力、表現力等の育成の基本と考え、自分の考えをもたせる時間を毎時間確保し、自分の考えを整理し、修正して書く(まとめる)習慣を身に付けさせた。

③ 家庭学習のR-PDCAサイクル

家庭学習の内容を、授業にリンクさせたテスト学習へと変更した。児童自身がテスト結果を踏まえ、どの内容についてどの程度学習すればよいか自己マネジメントしながら家庭学習に取り組むようシステム化した。

伸びを引き出した効果的な取組(中・数学)

① 授業で課題を完結する

基礎的な学習内容の定着を図るため、帯学習でドリル形式の計算練習を行った。また、対話を通して学びを深める時間や終末のまとめの時間をしっかり確保することで習熟を図った。

授業以外でも生徒が自ら考える場を設定することで主体的な活動を促した。(生徒会総会、生徒会専門委員会等の改善)

② やらされ感のない課題を設定する

自己マネジメント力を育むため、「宿題ゼロ」「やらされ感ゼロ」を教育スローガンに掲げ、一律に課す宿題を廃止した。

自主学習の方法を身に付け、主体的に学ぶことができるようにするため、年度初めに「学習の手引き」を用いて学習オリエンテーションを行った。また、期日の幅や選択課題、目標がある課題などを設定した。

令和5年度の学力調査予定

RPDCA

- 全国学力・学習状況調査・・・令和5年4月18日(火)
(対象：小6、中3) (対象教科：国語、算数・数学、英語(中))
※英語「話すこと」は当日実施校と期間内実施校がある
- ふくしま学力調査・・・令和5年5月11日(木)～26日(金)
(対象：小4～中2) (対象教科：国語、算数・数学)

福島県教育庁南会津教育事務所 学校教育課

TEL 0241-62-5255 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

